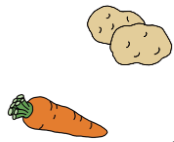


食育だより



みなさんは、いつも「いただきます」「ごちそうさまでした」の食事のあいさつをしていますか。また、どんなことを考えて食事のあいさつをしていますか。食事のあいさつについて考える機会として、1年生となかよし学級が学級活動において「食事をおいしくするまほうの言葉～いただきます」は、どんな言葉？～という学習を行いました。

食事をおいしくするまほうの言葉



食べ物をはこんだり売ったりしてくれる人



はたらいてくれる家の人



米や野菜を作ってくれる人

「いただきます」



「ごちそうさまでした」

わたしたちは、生き物の命をいただき、自分の命を養っています。いつも感謝の気持ちを込めて、「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつができるようにしましょう。



魚をとってくれる人



牛をそだててくれる人



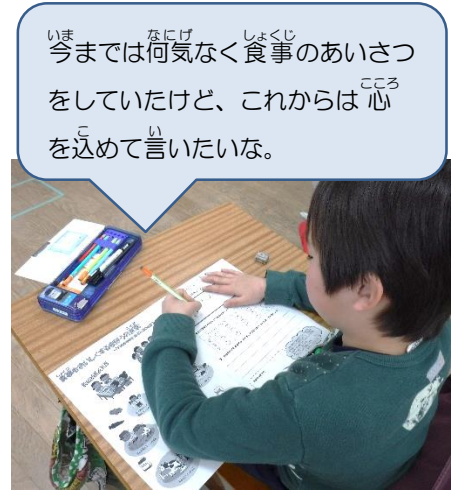
食事を作ってくれる人



米、野菜、肉、魚もみんな生きていたもの



給食やお家のご飯を残すと、命を無駄にしてしまうことになるんだね。残さず食べたいな。



今までは何気なく食事のあいさつをしていたけど、これからは心を込めて言いたいな。

調理員さんとの交流給食



調理員さんに感謝のお手紙を書いて渡しました♪



保護者の皆様、ワークシートへのコメントのご記入やご家庭での見守り・声かけのご協力ありがとうございます。引続き、学校でも指導を継続してまいります。